令和6年度「南城市幼小連携事業」活動記録

記録:幼小連携アドバイザー 守谷菊代

《知念こども園 公開保育&合同研修会》 知念地区						
実施日時	令和 6 年 11 月 19 日(火) 公開保育 9:00~10:00 合同研修会 10:15~12:00					
実施場所	公開保育園:知念こども園 合同研修会:知念小学校					
参加者	保育参観:31名(保育関係者9名 小学校2名 他市町村6名 学生5名 行政9名)					
	合同研修会:29名(保育関係者9名 小学校2名 他市町村6名 学生5名 行政7名)					

1 **公開保育** 《3 歳児~5 歳児 全クラス公開》

〇自然物や遊びに必要な素材など沢山の環境が用意され、子どもたちの主体的に遊ぶ姿が随所に見られた。また「子 どもの声」を聴き取り、受け止めて切り返す対話を大事にされているため、保育者は子どもが問いをもつような質 問や言葉かけをしており、思考力・判断力・表現力が培われる。



3歳児

お店屋さんごっこを通し て保育教諭や友だちと言 葉のやり取りを楽しむ

4 歳児

好きな遊びで試行錯誤 コマ遊び・制作遊び 泥だんご・虫捕り





ススキの穂で描いた全紙に、 散歩に行って集めた自然物を 貼り制作を楽しむ

参加者アンケートより

≪環境構成≫

- ・自然物や遊びに必要な素材が十分に用意してある
- 玄関には、子どもの姿がドキュメンテーションで 掲示され、子どもも保護者も遊びの流れが分かる
- ・好きなタイミングで好きに動いているのに、全体 に落ち着いた感じがするスペースの使い方や先生 の配置がすごい

≪保育者の援助≫

UFO キャッチャーつくり

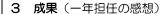
- 子どものつぶやきから保育が展開し、子どもの好 奇心や探究心に繋がっていた
- 不安な子の側にいて思いを聞いたり、さりげなく 励ましていた。近くにいる子も、私もやってみよ う!と自ら関わる姿が見られた
- 子どもが問いをもつ言葉かけの工夫が見られた

2 指導助言及び講話 琉球大学教育学部講師:宮城利佳子氏

- 子どもが自分で見付けたと思えるような環境構成作り、これが保育者の役目。
- 子どもの「やりたい」を実現する。廃材をいつでもいくらでもの環境を!
- 保育は家では出来ないことを集団の中で経験させることが大事!

【講話より】「架け橋期の教育・保育 ~子どもと共に考える~」

- スタートカリキュラムは、幼児期の遊びや生活を通した学びや育ちを基礎として作成する。
- ・幼小交流≪日常的な交流・園が小学校の環境を利用する・小学校が園の環境を利用する≫



・幼児教育で培われた力を伸ばせるように、学びを止めず繋ぎとなるように色々な視点から子どもの「やりた い!」を引き出していきたいと感じた。



